



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2009～2010年度 RI会長 ジョン・ケニー

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS ロータリーの未来はあなたの手の中に

クラブ会長基本テーマ「笑顔で奉仕 楽しい仲間作り」 会長 山梨一正

副会長 西原克甫 幹事 中山和雄

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

第1003回 例会 2010.06.18 (金) 雨

司会:石井邦夫君 指揮:山本 章君

ロータリーソング 「日も風も星も」

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 山梨一正君

今晩は。シリーズで話して来ました、小惑星いとかわ探査機はやぶさが先週13日に地球に戻って来ました。私は胸をときめかせながらその画面に見入っていました。7年60億キロの旅を終え幾多のトラブルを奇跡的に回復しボロボロになりながらの地球への帰還。大気圏に突入と同時に明りを放ち、流れ星のごとく尾を引いて、データカプセルを分離し地上に届け、探査機はやぶさは燃え尽きてその使命を果たしました。カプセルの中には7年間のデータや小惑星いとかわから採取した物質は太陽系の起源解明に役立つものと言われています。これはまさに感動のドラマであり、私の会長任期を終えるのに相応しい話題であったのではないかと思います。



私のテーマであります笑顔についてもシリーズで話してきましたが、今日も知られざる笑顔の効果で締めくりたいと思います。

笑顔が余裕を生む。

笑顔は人間関係を良好に保つために大切な事も御承知の通りですが、その笑顔が仕事の効率を上げる事にも繋がっているのです。笑うと不思議にリラックスし又テンションが上がります。心に笑顔があるから笑えるのではなく、笑顔が余裕を生むのです。科学的には笑顔になると脳内で、Bエンドルフィンというホルモンが分泌され、Bエンドルフィンには、鬱状態、不安、イライラを解消し判断力・気力・行動力を向上させ、ドーパミンはストレス耐性効果や記憶力を高め、これらが気分を爽快にして高揚させ、思考を鋭敏にしてくれます。その結果仕事の効率が上がります。忙しくて表情が厳しくなる時こそ笑顔が必要なのです。どんなに、沈んだ気分の時でも瞬時に分泌され気合いが高揚し表情も明るくなっていきます。ブルーな時こそ意識して口角をあげて下さい。ボールペンの先端の細い部分を前歯

4本で軽く噛んでそのまま笑顔を作して下さい。自然に笑顔になれるまで。それが私の願いであり、町中が笑顔でありたいと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	27/36	75.00%	29/36	80.56%
今回	26/35	74.29%	会員総数	37名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

新井君、遠藤君、加藤君、小林君、鈴木(政)君、土屋君、望月君、山田君、渡辺君

幹事報告

幹事 中山和雄君

1. 三島市暴力団追放推進協議会、小池会長より平成22年度三島市暴力団追放推進協議会、理事会・総会の実施についての報告が来ました。
2. 先週、社会を明るくする運動:街頭宣伝への参加についての要請をいたしました。同日7月1日午後2時より第20回三島市明るくすみやすい街を目指す市民大会が行われます。会場は三島市民文化会館大ホール、朝比奈幹夫氏の「命を止めないで～もう一度話をしたかった～」と題しての講演があります。その後街頭宣伝となりますのでよろしくお願いいたします。
3. 国際ロータリー第2620地区より富士山世界文化遺産登録推進運動、8月8日は『富士山つながりの日』、みんなで富士山頂に集まって手に手つながろう、との呼びかけが来ています。参加希望の方は特に申し込みは必要ありませんが、内容について説明いたしますので申しして下さい。
4. 沼津ロータリークラブ、沼津北ロータリークラブより週報が届きました。また沼津ロータリークラブの7月9日の(金)の例会は前会長、幹事の慰労会のため、夜間例会に変更とのことです。

クラブ協議会

SAA委員会

委員長 石井邦夫君

今年一年間自分の至らぬ事が多く、会長・幹事・会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしまして申し訳ありませんでした。6月11日（金）SAAOB会にて先輩より今後のSAAの在り方について数多くのアドバイスをいただきました。次年度委員長土屋君、副委員長山本章君、新人の久保君も参加して頂き、次年度SAA委員会の方向性がはっきり見えてきたと思います。会員皆様の愛情で一年間続けてこれました。ありがとうございました。

会員組織委員会

委員長 山田定男君

本年度、会員組織委員会は、『楽しく行い、為にもなる、仲間を増やそう』を合言葉に行ってまいりました。09年8月7日会員増強クラブ・フォーラム例会には、80名例会を計画し会員の皆様の多大なる協力を頂きゲスト多数により82名の例会を行う事が出来ました。この事は2620地区にも報告しました。本年度反省しますと、4名の退会者が出てしまい1名の入会でした。『楽しく行い、為にもなる、仲間を増やそう』の活動が今少し足りなかつ

国際奉仕プロジェクト

岡 良森君

2009-2010年度の国際奉仕プロジェクトの活動は、当クラブの主要活動の一つでもあるタイへの放置自転車の贈呈であり、当クラブとしての第7回贈呈式を昨年9月21日に実施しました。

当クラブとしての7回目の贈呈式。現地では71回目の贈呈式に、今回は14名の仲間で行ってきました。今回の贈呈は、チョンブリ県アマタナコンというエリアです。

昨年までの3年間とは少し趣が変わっていました。バンコクから比較的近いということ、贈呈会場が、工業団地内にある施設ということで整然とした感じがしました。また、今回は、現職の在タイの小町恭士特命全権大使が出席されるということで、近隣ロータリーなど多くのロータリアンの出席がみられ、各団体のスピーチ等も多く、若干大人の為の式典という感じになってしまいました。当クラブ訪問団の団長である野中パスト会長はそうした多くの出席者の前で、スリウォンRCの政岡プロジェクト委員長に通訳のお手伝いをしていただきながらも挨拶はタイ語で語りかけるなど大変素晴らしいスピーチをされ、小町大使と遜色のない拍手をいただきました。

それでも、各学校を代表して式典に参加してくれた子供達は、例年のように、自転車を貰ったことへの純粋な喜びと感謝の気持ちを私たちに表わしてくれました。式典の後半では小学生組と中学生組の2班が感謝の舞（タイ舞踊）を踊ってくれました。今回、初めて参加した当クラブロータリアンも一様に感動したと感想を語ってくれました。

式典の詳細とバンコクスリウォンRCとの交流の内容をスリウォンRCの事務局の方がCDに纏めてくださいましたので皆さんと鑑賞したいと思います。

式典は、昼の12時頃に終了し、その後、現地ロータリーアンと総勢20名で親睦ゴルフを行い（日没で数ホール回れませんでした）、夜にはバンコクで食事会を行いお開きとなりました。

翌日は恒例のバンコクスリウォンの例会への参加もしてきました。ここでは、ウィム直前会長（現会長は諸事情にて日本に帰国中）から当クラブの長年の事業活動に対し、感謝状が贈られ、根津君が代表して受領してきました。（当クラブも我々の活動のパートナーとしての同クラブに感謝状を贈りました。）今回は、日本からの他のロータリークラブとのジョイントが無かったため2クラブによる親睦例会といった感じでした。

（ゲストで一人神戸西神ロータリーの方がいらっしゃいましたが感心しておられました。）

バンコクスリウォンRCは、現在会員数18名、年間10回の贈呈行事を手掛けておられます。放置自転車のみならず、浄水器や、図書、給食支援など、様々な活動を行っています。活動に係る段取りなど相当なエネルギーをこうした事業に費やしており偉大なクラブという感想を持ちました。ちなみに現在までに現地では、31500台の自転車贈呈を行っておりますが、そのうちの10%（約3100台）が我せせらぎ三島RCのスポンサーによるものとの紹介もありました。ウィム直前会長は、昨今の日本における経済情勢の中、スポンサーになったいただけるクラブの減少傾向を嘆きつつも、100回、150回、200回と活動を継続していきたいと明るく且力強い意志を表明されておられました。

今回、私は、根津直前国際奉仕委員長の完璧な前段取りの上に乗った形でスムーズに行程を進めることができました。野中団長はじめ同行していただきました当クラブロータリアンの協力により全員が安全に帰国することができました。また、当クラブから頂いた活度補助金により訪問団食事会など楽しいひと時を過ごすことができました。この場を借りて感謝申し上げます。

訪問団

野中知行団長（パスト会長）

兼子悦三パスト会長、澤田稔パスト会長、保坂国夫パスト会長

根津直前国際奉仕委員長、矢岸貞夫君、山口辰哉君、小林勝君

宮澤正昭君、土屋巧君、同婦人、新井香君、久保栄子君 担当：岡 良森

地域開発奉仕プロジェクト

小委員長 石井司人君

○『3年後の自分への手紙』の事業について
本年から始めました『3年後の自分への手紙』の事業を無事終了する事が出来ました。7月に入ってすぐ行うため、事業内容の取りまとめが大変でしたが、渡辺委員長、岡小委員長の協力で夏休み前に三島市・函南町両教育委員会各学校長、保護者様の理解でなんとか10月中旬に各学校から手紙が届きました。厳重に保管をさせて頂きました。

○植樹事業について

3年目になります植樹事業ですが、3月13日（土）に「少年自然の家」のアプローチの斜面に20本のもみじを例会変更で多数のメンバーとご家族の協力で無事作業を終了、20本のもみじは元気に育っております。

ロータリー奉仕委員会 委員長 米山晴敏君

ロータリー財団に年次寄付をはじめ数々の寄付を頂きありがとうございます。ポール・ハリス・フェローのポイントを使い、フェローを増加する様に計画を立て、地区、当クラブ理事会の承認を頂きましたが、幸運にも次年度委員長が優秀な小林勝君ですので、2人で話し合って継続してやって頂く事になっております。残念な事は当委員会の委員、古屋さん、川村さんが退会した事です。

広報委員会 委員長 中村 徹君

今年度当初、山梨会長、中山幹事の奔走により、クラブ事務所が新規に移転し、事務局の宇都宮さんの娘さん、泰子さんが、週報を担当してくれる事になりました。一年間ありがとうございました。ご苦労様でした。

さらには来年度から、クラブのホームページも泰子さんが暫時、更新してくれることになりました。

したがって、次年度より広報については泰子さんが山口辰哉君の長年の労の大半を代わってくれそうでありませう。

今年度広報委員会活動は試行錯誤の末、「ロータリーの友」から「会員への情報提供」や、「クラブ事業を広報に」をテーマに上げ、山梨会長、中山幹事の「クラブ運営」を補佐することに努めて参りました。

ロータリー広報内、外委員長の山口辰哉君、望月保延君初め広報委員会の皆様、SAA委員長、石井さん、一年間ご支援、ご協力ありがとうございました。

ロータリー内広報

小委員長 山口辰哉君

今年度は内広報委員会として掲げた目標の半分はクリアできたと思います。

もう半分、週報以外のページ更新、そしてバナー広告の募集をして、それをLINKさせてお金を稼ぐということができませんでした。また、メールが打てる、開くことができるようにするための講習会をしようと思いつながら、前会員の西山さんに問い合わせだけで終わってしまったことが残念でした。アンケートをとるだけで、それを反映させなかったことを反省しております。幸か不幸か次年度も同じことをしろといわれておりますので、今年度できなかったことをしたいと思っております。

ロータリー外広報

小委員長 望月保延君

人間は言葉と言う大変便利なツールを持っています。『俺の目を見ろ何も言うな』では 相手には気持ちが出来ません。ロータリー活動も同じ事ではないかと思っております。 そう言う意味でもロータリーの中で広報委員会が重要になってくると考えます。世の中にロータリー活動とはこの様な事をやっているんだと具体的に、PRしていく広報委員会活動をして行きたいと考えています。

親睦委員会

小委員長 加藤正幸君

今年の会長テーマ「笑顔で奉仕・楽しい仲間づくり」に沿って行事企画をしてみましたが皆様に上手く伝わったかは自信がありません。私事ですが今年は昨年に引続き、自治会区長となり区内での奉仕はロータリアンとしての自覚を持ちながら行動できているかと思っております。

今年は昨年同様に親睦例会を7月・9月・2月・4月に行いました。それぞれ担当者をお願いし、楽しい例会になったと思います。尚、8月夏の家族例会・富士山静岡空港とSLの旅、石井様には大変お世話になり 皆様には貴重な体験ができたと思っております。12月のクリスマス会での岡・杉山君のすばらしい企画は、ちびっ子チアガールに大変魅了されたと思っております。5月には当クラブ1000回記念例会。20年の時の流れに各メンバーとそれぞれ感じる所があったのではと想像いたします。6月にさよなら例会が行われ、1年間の行事を終了させていただきます。

親睦委員のメンバーの皆様には御協力いただき本当に有難う御座いました。厚く御礼申し上げます。当メンバーの方々にはいたらぬ所が多々あったかと思っておりますが、温情に深く感謝し報告とさせていただきます。有難う御座いました。

一年が終了し、クラブ管理委員会は、会場監督(プログラム)委員会、親睦委員会(出席)委員会、会計(組織規定検討)委員会と協力して、それぞれの委員会がクラブ管理運営の目標をほぼ達成できたと思います。プログラムも無事に、7/17親睦例会、8/23夏の家族会、9/18親睦例会、12/18クリスマス家族会等々後期もスケジュール通り順調に実行できたと思います。各委員長様をはじめ委員の方々のご協力に感謝申し上げます。ご苦労様でした。

幹事

中山和雄君

年度始めに今年度のR I 会長のテーマはロータリーの未来はあなたの手のの中にとあり、まさにそのとおりだと私も考えますと述べさせていただきましたが、つまりロータリーの魅力は人の出会い、人との出会いにより社会奉仕、職業奉仕とつながっていき、それが自分の自信となり力となり、ロータリーの原動力となっていく。そして山梨会長の笑顔で奉仕、楽しい仲間づくりを念頭に皆様の活動がスムーズに行うことができるようにがんばっていきますと所信を述べ、1年間過ぎてしまいました。来週で終わりです、今思うと山梨会長の手助けも何も出来ず、皆様に対しても何もお役に立てなく会員の増強にもおよばず、1年間何も出来なく終わってしまいました。

しかし今回、幹事を1年間務めさせていただき、今になってやっとロータリーアンに一歩足を踏み込んでいけそうに思います。一年間ありがとうございました。



スマイルボックス

石井和郎君:6月16日、我が家にはじめての小さな天使が舞い降りました。中村先生ありがとうございました。

服部光弥君:「今夜はどこへお出掛け？」と妻に問われ「ロータリーの入会説明会」と答えました。…ちんもく…何とかみとめてもらえた感じです。

山口辰哉君:幸運にもカメルーンに勝ちました。明日のオランダ戦でもラッキーがあるといいですね。勝利に期待して!!

杉山 隆君:怪我の為に例会を長期欠席してしまい大変申し訳ありません。一日も早く復帰出来る様頑張ります。

Bテーブル・内田憲一君:本年度最後のテーブル会を中国料理抜天で行いました。残金をスマイルします。

委員会報告

親睦委員会

6月18日 親睦委員会報告

次週6月25日の「さよなら例会」は会費2,000円を徴収いたします。

バスをご利用の方は、事務局まで申し出下さい。

ROTARY NEWS

カナダ、モントリオールで開催されている2010年RI国際大会にて、25年を数えるポリオ撲滅活動を完遂させるよう激励を受けたロータリアンは、ロータリーによるポリオ撲滅の誓いを新たにしました。

6月22日、第3回本会議が開かれ、世界保健機関の世界ポリオ撲滅推進計画責任者、ブルース・アイルワード氏が講演を行いました。

その前日となる6月21日の夜、元ポリオ患者のラメシュ・フェリスさんが、大会会場からモントリオール旧市街までの道のりを、手こぎ式の自転車で移動しました。これは、Bonsecours Market の外壁に、ポリオ撲滅を訴える「En finir avec la polio(End Polio Now)」の文字をイルミネーションで照らすイベントの一環として行われました。同日に行われた第2回本会議では、20カ国以上の政府高官やその他の著名人の署名が記された、「アフリカ・キックアウト・ポリオ」キャンペーンのサッカーボールが、雷鳴のような拍手喝采の中、会場に到着しました。「ロータリアンの皆さまの善意があったからこそ、ポリオ撲滅活動を抜本的に推し進めていくことができました」と、アイルワード氏はポリオとの闘いにおけるロータリアンの貢献を称賛しました。

アイルワード氏はさらに、タジキスタンにおける最近のポリオ発症事例を挙げ、撲滅活動を完遂させることは決して容易なことではないと指摘しました。タジキスタンでは、ポリオウイルスによって成人の死者が出たほか300人の子どもが感染し、国境は封鎖され、国家間の移動が禁止されています。タジキスタンにおける惨状は、ポリオ撲滅活動の失速を如実に物語るものだとアイルワード氏は説明します。

タジキスタンでのポリオウイルス発生を受け、48時間後にはポリオ・プラス基金から総額50万ドルの緊急資金が投じられました。現在、現地の状況は沈静化しつつあるとアイルワード氏は述べます。同氏はまた、現存する2種類のポリオウイルス両方に効き目がある二価ワクチンに言及し、インドのビハール州、ウッタルプラデシ州の両州において過去6カ月間ポリオが未発症であることを報告しました。

「ポリオ撲滅に向けた皆さまの活動には目を見張るものがあります」とアイルワード氏。「皆さまは、超我の奉仕を実行すると同時に、ロータリーを世界の舞台へと押し上げたのです」